

第 62 回粘土科学討論会のお知らせ

■主 催：（一社）日本粘土学会

■共催・協賛・後援：

環境放射能除染学会，産業技術総合研究所コンソーシアム Clayteam，資源・素材学会，資源地質学会，地盤工学会，日本応用地質学会，日本化学会，日本火山学会，日本鉱物科学会，日本ゼオライト学会，日本セラミックス協会，日本セラミックス協会資源・環境関連材料部会，日本第四紀学会，日本地学教育学会，日本地球化学会，日本地質学会，日本土壌肥料学会，日本熱測定学会，日本薄片研磨片技術研究会，日本ペドロジー学会，農業農村工学会，他（順不同、予定含む）

■期 間：平成 30 年 9 月 10 日（月）～ 11 日（火）

■会 場：早稲田大学 西早稲田（理工）キャンパス 東京都新宿区大久保3-4-1

<https://www.waseda.jp/fsci/access/>

■日 程：

| | 9 | 9:30 | 10 | 10:45 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
|-------------|--------|------|------|-------|----|-----------|---------------|------|--------|----|----|-----|
| 9 月 10 日（月） | 受付 | | 口頭発表 | | 総会 | 理事会 | 会長講演 ・特別講演 | | シンポジウム | | | 懇親会 |
| 9 月 11 日（火） | 口頭発表 | | | | | 常務 委員会 | ポスター発表 | 口頭発表 | 編 集 | | | |
| | ポスター掲示 | | | | | | | | | | | |

■ 受付・参加登録：

以下の参加登録料をすでに送金されていた方には、当日受付で、要旨集，名札などをお渡しします。
（講演要旨集USB代込）

会員（正，シニア，名誉，共催・協賛・後援学協会会員を含む） 6,000 円

学生会員（共催学会学生会員を含む） 4,000 円

非会員 15,000 円

学生非会員 7,500 円

参加登録料を送金されていない方は、8 月 10 日（金）までは事前送金代にてお受け致します。

*8 月 10 日（金）までのご送金先は、討論会のお知らせ（1stサーキュラー）をご参照ください。

当日参加登録料（講演要旨代を含む）は以下の通りです。

会員（正，シニア，名誉，共催・協賛・後援学協会会員を含む） 8,000 円

学生会員（共催学会学生会員を含む） 6,000 円

非会員 17,000 円

学生非会員 9,500 円

■ 会場案内：

| | |
|---|-----------------------|
| 受 付 | 53号館204教室 |
| 会長講演及び特別講演：9 月 10 日（月）13:00～14:30 | 52号館204教室 |
| シンポジウム：9 月 10 日（月）14:30～18:00 | 52号館204教室 |
| 一般講演 | |
| 口頭発表 A | 52号館204教室（A 会場） |
| 口頭発表 B | 52号館201教室（B 会場） |
| ポスター発表 | 53号館201教室・203教室（C 会場） |
| 平成 31 年度第 1 回理事会：9 月 10 日 12:00～13:00 | 53号館101教室 |
| 平成 31 年度第 1 回常務委員会：9 月 11 日 12:00～13:00 | 53号館101教室 |
| 会誌編集委員会：9 月 11 日 16:30～17:30 | 53号館101教室・103教室 |
| 討論会事務局 | 53号館104教室 |

■ 総 会

日 時：平成 30 年 9 月 10 日（月）10:45～12:00

会 場：52号館204教室

■ 懇親会

日 時：平成 30 年 9 月 10 日（月）18:15～

会 場：早稲田大学西早稲田（理工）キャンパス 63号館 1 階ロームスクエア
（〒169-8555 東京都新宿区大久保3-4-1）

会 費： 一般 7,000 円， 学生 4,000 円（いずれも8月10日までの前納）

当日 一般 9,000 円， 学生 6,000 円

■ 関連行事

粘土科学若手の会

開催日時：9月9日（日）13:00～18:30

会 場：55号館N棟1階 第二会議室 および 53号館201教室

■ 発表者へのお願い

● 一般講演 口頭発表

口頭発表はすべて液晶プロジェクター（解像度：1600×1200）を用いて行います。発表者ご自身で PC をご持参ください。PC のプロジェクターへの接続（RGBまたはHDMI）は発表者自身で行っていただきます。事前に、スリープ機能など発表時間のロスにつながるような機能を解除しておいてください。持ち時間は 15 分（講演 8 分，質疑 6 分，交代 1 分）です。

● 一般講演 ポスター発表

ポスター会場にパネル（縦 180 cm×横 120 cm）を準備します。ご自身の講演番号が表示されたパネルにポスターを掲示してください。ポスター掲示は 9 月 11 日（火）の 9:00～13:00 の間に行ってください。ポスター発表のコアタイムは、奇数番号が 13:00～13:45，偶数番号が 13:45～14:30 です。発表者はこれらの時間帯にはご自身のポスターの前でご説明をお願いします。ポスターは発表終了後直ちに撤去してください。

● 口頭発表の録画・録音ならびにスライドおよびポスターの写真撮影を禁止します。講演者の記念撮影を行う場合には座長の許可を得てください。

● 講演要旨集の無断複写，要旨集内の図表の転載を禁止します。

● 討論会終了後，講演要旨はJ-Stageにて公開いたします。公開を希望されない場合は，討論会開催日までに日本粘土学会事務局までご連絡ください。

● 本講演要旨に掲載された要旨等の著作権は本学会に帰属します。ただし，著者自身が自分の論文等の全部または一部を複製・転載等の形で利用する場合はこれを妨げません。

■ ご宿泊について

各自ご手配ください。

■ 会場までの交通

● 地下鉄東京メトロ副都心線 西早稲田駅下車 出口3（早大理工方面口）がキャンパスに直結

JR山手線・地下鉄東京メトロ東西線・西武新宿線 高田馬場駅下車 徒歩15分

JR山手線 新大久保駅下車 徒歩12分

地下鉄大江戸線 東新宿駅下車 徒歩15分

都バス

（池86）池袋駅東口→渋谷駅東口

（早77）新宿駅西口→早稲田

（高71）高田馬場駅前→九段下

<https://www.waseda.jp/fsci/access/>

* 駐車場が無いので，車でのご来場はご遠慮下さい。

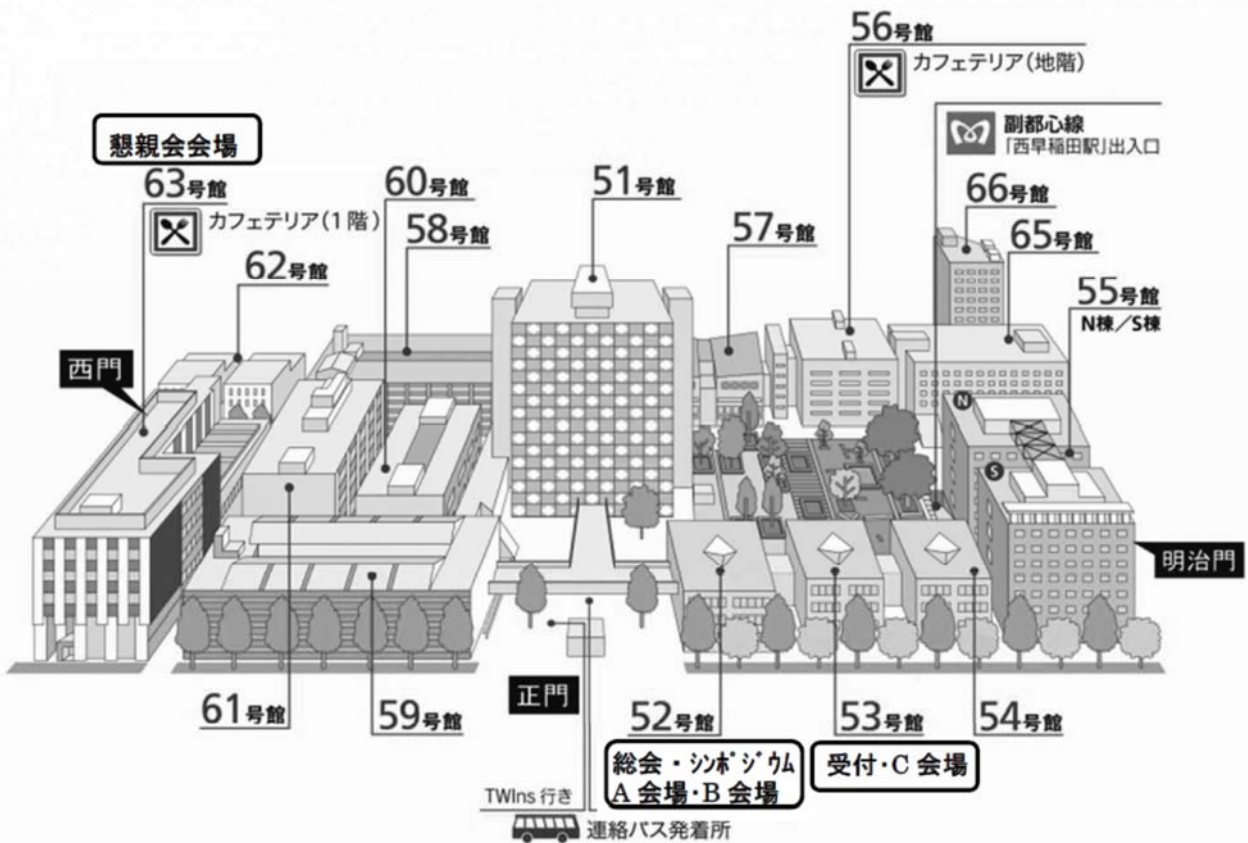
■ お問い合わせ先

第62回粘土科学討論会実行委員会

メールアドレス：62AMCSSJ@list.waseda.jp

■ 会場周辺および会場略図

キャンパス周辺図



■ 特別講演及びシンポジウム

9月10日(月)

シンポジウムA会場 (52号館204教室)

会長講演及び特別講演

13:00~14:30 座長:宮脇律郎

SX 会長講演:表面分析とバルク分析

○八田珠郎(千葉科学大)

SP 特別講演:各結晶相の積分強度の和と化学組成から求める新しい定量分析法

○虎谷秀穂((株)リガク)

シンポジウム「粘土周辺の無機材料」

14:30~18:00 座長:亀島欣一・渡邊雄二郎

S1 層状アルカリケイ酸塩,チタン酸塩ならではの材料設計

○井出裕介(物材機構・MANA)

S2 微細な層状水酸化物を利用したメソ・マクロ構造体の設計

○樽谷直紀(法政大・生命科学)

S3 低シリカゼオライトの合成とその応用

○松本泰治(栃木県産業技術センター)

S4 ゼオライトの合成とその応用

○脇原 徹(東大工)

S5 ポルトランドセメントを使用しないジオポリマー硬化体の配合、諸性質およびその開発

○上原元樹((公財)鉄道総研)

■ 一般講演プログラム

9月10日(月)

口頭発表 A会場 (52号館204教室)

9:30~10:45 座長:黒田義之

A1 カオリナイト有機誘導体の表面におけるSI-ATRP

○町田慎悟・ゲガンレジス・菅原義之(早大先進理工,早大材研)

A2 天然ゴム/シランカップリング剤修飾層状複水酸化物複合体の合成とその特性

○折館智輝・會澤純雄・桑 静・平原英俊(岩手大総合科学研究科・岩手大理工学専攻)

A3 改質リグニンと粘土を用いたハイブリッド膜材料の開発と評価

○鈴木麻実・石井 亮・吉田 肇・中村考志・敷中一洋・蛭名武雄・石田隆弘(産総研化学プロセス研究部門・産総研工学計測標準研究部門・静岡理工科大)

A4 銅イオン含有層状ケイ酸塩RUB-15の層間縮合による銅含有ゼオライトへの転換

○坂井梨花・小池正和・下嶋 敦・和田宏明・黒田一幸(早大先進理工・早大材研)

A5 レピドクロサイト型層状チタン酸塩 $Cs_{0.8}Ti_{1.6}Ni_{0.4}O_4$ の酸及び熱処理により調製された TiO_2 系複合体の光触媒活性

○齊藤寛治・小宮雄輔・宗宮 穰・小笠原正剛・加藤純雄(秋田大院理工・早大材研・早大教育・早大院創造理工・成蹊大理工)

口頭発表 B会場 (52号館201教室)

9:30~10:45 座長:亀島欣一

B1 Naマイカのアモンニウムイオン交換によるプロトン型マイカの作製

○毛見隼之介・山口朋浩・岡田友彦・樽田誠一(信州大工)

B2 層状複水酸化物の塩化物イオンから硝酸イオンへの陰イオン交換反応の時分割X線回折法による速度論的研究

○笹井 亮・藤村卓也・音田信人・羽倉康喜・安部友啓・森吉千佳子・広河口彰吾(島根大院理学・島根大院環境システム科学・島根大院総合理工・JASRI)

B3 層状金属水酸化物ナノ結晶を用いた微細構造体の構築

○樽谷直紀・徳留靖明・高橋雅英・石垣隆正(法政大生命科学・阪府大工・法政大理工)

B4 非焼成調湿セラミックスの硬化条件と微細構造

○執行達弘・森 武士・野村隆文(北海道総研)

B5 空気量の異なるモルタル・コンクリートにおけるDEF(エトリンガイトの遅延生成反応)による膨張挙動

○山崎由紀・鶴田孝司・上原元樹(鉄道総研)

9月11日(火)

口頭発表 A会場 (52号館204教室)

9:00~10:15 座長:河野元治

A6 名張はんれい岩体の風化過程,特に水/鉱物間の平衡関係

○奥村 滋

A7 熊本県八代市泉町下岳に産する片状蛇紋岩の微細構造について

○延寿里美・上原誠一郎(京大理地惑・九大理地惑)

- A8 中国雲南省の石炭に含まれる鉄緑泥石の構造とその加熱による変化
○小暮敏博・奥村大河・酒井陽一・高山努・Linwei Tian (東京大学院理・大同大学・香港大学)
- A9 小石原焼と小鹿田焼の原料粘土の比較
○沢井長雄・境友李・片山翔 (山口大理)
- A10 岐阜県東濃地方の粘土資源ポテンシャル
○高木哲一・須藤定久 (産総研地圏資源)

10:15~11:30 休憩・PC 接続

10:30~11:45 座長: 宗宮 穰

- A11 Clay minerals in subsurface sediment of lowland of central Kanto plain and its relation with depositional Environment
○Sushmita Hossain・Takashi Ishiyama・Shoichi Hachinohe・Chiaki T. Oguchi (Saitama University・Center for Environmental Science in Saitama)
- A12 シュードベーマイトのセシウム及びヨウ素酸イオン吸着に及ぼすクエン酸表面錯体の影響
○河野元治・山田英里 (鹿児島大院理工)
- A13 ベントナイトとポリイオンコンプレックスを利用した森林セシウム除染
○熊沢紀之・相澤雄介・杉原輝俊・長洲亮祐・横塚 亨・田邊大次郎・田部智保 (茨城大工・茨城大・熊谷組・テクノス)
- A14 層状複水酸化物花弁状粒子の環境浄化材料への応用
○田村堅志・川尻里奈・井伊伸夫・渡邊雄二郎・佐久間 博・加門真純 (物材機構・法政大)
- A15 シリカ共存系における鉄およびマグネシウム水和物の亜セレン酸に対する吸着・共沈挙動
○出井俊太郎・佐藤 努・長谷東子・大竹 翼 (北大院工)

15:15~16:15 座長: 横山信吾

- A16 小角散乱によるナノ鉱物の定量
○月村勝宏・高木哲一・鈴木正哉 (産総研地圏資源)
- A17 粘土鉱物存在下での蒸発乾固による核酸塩基とリボースからのヌクレオシドの合成
○橋爪秀夫・ベニー テン・シャリー フェンデルガースト・藤井和子 (物材機構カーボン複合材料グループ・物材機構ランドケアリサーチ・オランダ国立海洋研究所)
- A18 分子動力学計算による 2 八面体型スメクタイトにおける同型置換位置の検討
○川喜田竜平・佐久間 博・佐藤 努 (北大・物材機構)
- A19 部分と全体一混合層構造への一視点
○永田 洋 (前・日比谷高校)

9月11日(火)

口頭発表 B会場 (52号館201教室)

9:00~10:15 座長: 笹井 亮

- B6 非水溶媒分散型粘土鉱物コロイドの液晶性と粘弾性
○宮元展義・岩下 亮・加藤利喜・山本伸也 (福岡工大・Univ. Paris Sud・福岡工大)
- B7 コロイド分散している酸化ナノシートの光学顕微鏡による直接観察
○中戸晃之・東 裕貴・石飛 涉・鈴木康孝・川俣 純 (九工大院工・山口大院創成科学)
- B8 単層剥離したフルオロヘクトライトの光の放射圧によるマニピュレーション
○東 裕貴・長下 敬・石飛 涉・中戸晃之・鈴木康孝・川俣 純 (山口大院創成科学・九州工大院工)
- B9 ハイブリッド水酸化コバルトナノシートを用いたアルカリ水電解用自己組織化触媒
○黒田義之・光島重徳 (横浜国大工・横浜国大 IAS)
- B10 Nonionic organoclays for environmental uses
○Régis GUEGAN・Tiago DE OLIVEIRA・Yoshiyuki SUGAHARA (CNRS-The University of Orléans・Waseda University)

10:15~10:30 休憩・PC 接続

10:30~11:45 座長: 中戸晃之

- B11 合成サポナイトと色素のハイブリッド材料が示すサーモクロミズム
○塩崎文香・永瀬麻那・富永 亮・長下 敬・鈴木康孝・谷 誠治・川俣 純 (山口大院創成科学・山口大理・Universitat Bayreuth, Department of Inorganic Chemistry)
- B12 合成サポナイトに吸着したキラルイリジウム(III)錯体の発光特性
○瀧本和誉・泉寺良樹・渡邊 裕・佐藤久子 (愛媛大院理工)
- B13 サポナイトを光反応場とした銅ナノ粒子の発光現象
○西尾謙吾・宮川雅矢・田中秀樹 (中大院理工・中大理工)
- B14 層状ケイ酸塩表面におけるメチルピオロゲンの酸化還元反応
○中村将志・Wipakorn Jevasuwan・深田直樹・江口美陽 (神島化学工業株・物材機構)

- B15 色素鋳型を用いたソーコナイト合成におけるアニオン配列制御の検討
○荒川京介・中里亮介・嶋田哲也・石田玉青・高木慎介（首都大 都市環境科学研）

15:15~16:30 提案型セッション「粘土および類縁体を用いたナノ粒子の合成と機能」 座長：石田玉青

- SE1 金金属ナノ粒子の層間 in-situ 合成と光学特性
○由井樹人（新潟大学自然系）
- SE2 チタン酸ナノシートと金属酸化物の光電析法による機能性の付与
○吉岡大輔・西村泰光（川崎医大自然科学・川崎医大衛生学）
- SE3 粘土上でモルフォロジー制御された銅ナノ粒子合成法の確立と保護剤フリーを活かした機能化
○宮川雅矢・澁澤朱音・西尾謙吾・田中秀樹（中大理工・中大院理工研）
- SE4 ポルフィリン/モンモリロナイト複合体上における金ナノ粒子生成操作
○藤村卓也・嶋田哲也・石田玉青・笹井 亮・高木慎介（島根大・首都大院水素エネ研究センター・首都大院金の化学研究センター）

■ **ポスター発表**

9月11日（火）

ポスター発表 C会場 (53号館 201教室・203教室)

13:00~15:00 <コアタイム>奇数番号 13:00~14:00 偶数番号 14:00~15:00

- P1 エレクトロ・スプレー法を用いた両親媒性4級アンモニウムイオンと粘土ナノシートとの複合薄膜調製
○梅村泰史・平原将也（防衛大応化）
- P2 合成サポナイトとイリジウム（Ⅲ）錯体のハイブリット化による発光特性
○秦泉寺良樹・瀧本和誉・渡邊 裕・佐藤久子（愛媛大理・愛媛大院理工）
- P3 粘土による高温水中でのキシロースおよび竹粉からのフルフラール合成
○山内優希・金内良介・七尾英孝・佐藤 修・山口有朋・白井誠之（岩手大工・岩手大院総・岩手大理工・産総研）
- P4 塗布法による各種金属への粘土由来セラミックコーティングにおける界面状態の比較
○棚池 修・蛭名武雄・齋藤徳之・飯島高志・丹羽英二・林 晋也・須貝一郎・野口幸紀（産総研電磁材料研・(株) イチネンケミカルズ）
- P5 スメクタイトおよびアスパラギン酸共存下におけるβ-D-グルコースの反応性
○市原俊太・岡田友彦（信州大工）
- P6 層状ケイ酸塩を被覆した単分散シリカ粒子のコロイダルアモルファス配列
○細山田 聖・高田千紗都・岡田友彦（信州大工）
- P7 Rietveld 解析による日本粘土学会参考試料 JCSS-3101 中モンモリロナイトの定量分析
○笠利実希・大淵敦司・小池裕也（明治大院理工・(株) リガク・明治大理工）
- P8 水中に分散した粘土ナノシート上における非イオン性分子の吸着および光化学的挙動
○中里亮介・嶋田哲也・石田玉青・高木慎介（首都大院都市環境・首都大院 ReHE・首都大院金の化学研究センター）
- P9 層状複水酸化物中にインターカレーションしたアミノ酸の振動円二色性スペクトル
○佐藤久子・瀧本和誉・會澤純雄（愛媛大院理工・岩手大理工）
- P10 層状複水酸化物にインターカレートした酒石酸誘導体の振動円二色性スペクトル
○佐藤久子・松尾拓哉・瀧本和誉・田村堅志・山岸皓彦（愛媛大院理工・愛媛大理・物材機構・東邦大医）
- P11 マイクロ波照射による汚染土壌の脱セシウム化
○山岸皓彦・田村堅志・山下 浩・佐藤久子・森田昌敏（環境測定品質管理センター・東邦大医・物材機構・愛媛大院理工）
- P12 ベントナイトと PIC を利用した森林セシウムの自然集積除染
○相澤雄介・熊沢紀之・長洲亮佑・横塚 享・田邊大次郎・田部智保（茨城大院理工・熊谷組・テクノス）
- P13 ミミズへの放射性セシウム移行抑制におけるベントナイトの作用
○杉原輝俊・熊沢紀之（茨城大院理工）
- P14 ゲル内での層状複水酸化物合成：様々な複合体吸着材の開発
○日比野俊行（産総研環境管理）
- P15 硫黄山噴火に伴う噴出物と環境影響への対応
○伊藤健一・藤井慎吾（宮崎大学・宇部マテリアルズ）
- P16 H⁺型ジオポリマーの調製と物理化学的特性
○佐藤隆恒・上原元樹・小田慎太郎・山崎淳司（鉄道総研・早大創造理工）
- P17 廃安定液の高速凝集分離技術の開発
○森下智貴・三浦俊彦・荒川 真・田中 稔・佐藤俊介・松下真矢（大林組・大明化学工業・松下鋳産）
- P18 セメント系材料と10年間接触したベントナイトの変質挙動
○横山信吾・湊 大輔・新橋美里・渡邊保貴（電力中央研バックエンド研究センター）
- P19 バーミキュライトの水蒸気吸着
○前田雅喜・鈴木正哉（産総研）
- P20 新奇親水性ポリマー-clay ハイブリッド材料の合成と吸水特性
○松井大地・石丸臣一（東京電大工学）

- P21 スタンプミルと水簸分級で精製した土橋セリサイトの陶磁器原料としての特長
○武内浩一・吉田英樹・山口英次・木須一正・狩野伸自・武部将治（長崎県窯業技術センター・土橋鉱山（株））
- P22 LDH 合成による金属 Al の新規染色方法
○久門麻実・友杉雄太・青野宏通・松枝直人・福垣内 暁（愛媛大紙産業イノベーションセンター・愛媛大工・愛媛大農）
- P23 ベントナイト試料のメチレンブルー吸着量の測定—試料分散条件の検討—
○木村瑠璃子・室岡孝信・吉田拓也・長井雄希・佐藤悌治（黒崎白土工業）
- P24 $^{31}\text{P-NMR}$ による固体酸の定量
○高橋範行・渋江俊道・菅原義之（水澤化学工業(株)・早大物性計測センターラボ・早大先進理工・早大材料技術研究所）
- P25 エアロゾルデポジション法によるアロフェン膜の作製
○松本泰治・鈴木 宗・飯塚一智・佐伯和彦・明渡 純（栃木県産業技術センター・品川ゼネラル・産総研）
- P26 パイロフィライトのジオポリマー化への熱処理の影響
○亀島欣一・西本俊介・三宅通博（岡山大院環境生命科学）
- P27 シュベルトマナイトへのケイ酸吸着方法と構造安定性
○平岡 秀樹・杓名洋典・鷹觜 篤（東亜合成（株））
- P28 層状無機・イミダズリン Monolith の評価
○藤井和子・橋爪秀夫・下村周一・若原孝次・安藤寿浩（物材機構）
- P29 遷移金属を骨格に含む層状複水酸化物のヨウ化物およびヨウ素酸イオンの吸着特性
○手束聡子・星 光希・太田希志乃（千葉科学大）
- P30 Li-Ca-Al 系層状複水酸化物のアニオン吸着特性
○星 光希・太田希志乃・手束 聡子（千葉科学大）
- P31 酸化マンガン／セピオライト複合体触媒による過酸化水素の還元分解
○石井田 光・本郷照久・松井良夫・山崎淳司（早大創造理工・埼玉工大工）
- P32 セメントペースト中におけるエトリンガイトの分解・再生成挙動
○小山田祐基・佐々木晨朔・山崎由紀・上原元樹・山崎淳司（早大創造理工・鉄道総研）
- P33 ネパールヒマラヤ・カトマンズ盆地堆積物の粘土鉱物分析による インドモンスーン変動の復元
○丁 斐・桑原義博・林 辰也・藤井理恵・酒井治孝・槇尾雅人（九州大地球社会・九州大比文・京都大理）
- P34 Climatic influences on chemical composition and clay minerals of soils and weathered materials in the soil-slip scar on granitic slopes in Japan
○Imam Md. Hasan・Chiaki T. Oguchi・Tsuyoshi Wakatsuki・Mariko Ueda（Saitama University・National Research Institute for Earth and Disaster Resilience）
- P35 京都府和東産ラッセル石(Bi_2WO_6)の産状と鉱物学的性質
○白勢洋平・延寿里美・鶴田憲次・下林典正（京大総合博・京大理・京都芸大）
- P36 2:1 型粘土鉱物の層間・表面・端面のモデル化とカフェイン吸着サイトの検討
○佐久間 博・田村堅志（物材機構）
- P37 マサ中の粘土鉱物
○中川昌治・八田珠郎（高知大・千葉科学大）